

国費留学生体験談 No.2

「Diario de Becarios Activos en Japón」

コルドバ エステバン

私はコルドバ エステバンと申します。コスタリカ大学で哲学を勉強し、アメリカ国際大学でジャーナリズムを学びました。

記者として勤めていたとき、東アジアのニュース、とりわけ日本や中国のことを専門に報道していました。

2012年に中国政府から中国について勉強するために奨学金をいただきました。北京に住んでいた間、勉強しながら、編集者として通信社に勤めていました。そこでコロンビア、チリ、アルゼンチン、コスタリカ向けに中国で起こったニュースを発信していました。



2015年に、アジア研究を続けるために日本の文部科学省から大学院生向けの奨学金を得ました。

今年の4月2日でこんな素晴らしい国に来て一年経ちます。

この間、九州大学で日本語研修コースで勉強しながら、ラテンアメリカのマスコミへ東アジアに関するレポートを送っておりました。

私の専門には日本語が必要なので、会話、ライティング、漢字、文法を学びました。先生たちにお世話になり、無事修業をすることができました。アジア研究の授業やゼミナールを日本語で行いますので、役に立つと思っています。

私の目標は通信社を立ち上げることですが、その大志を達成する前に東アジア地方のもっと深い知識を得たいと思っております。

ですので、今年の4月にアジア研究の修士として九州大学地球社会統合科学府に入学する予定です。幸いにも入学試験は合格できました。最終的には、博士号まで取得したいと思っております。



私の研究テーマは東アジアにおける情報の自由です。具体的には、中国と日本の情報の流れについて研究したいと思っております。中国は情報統制を行う国であるとみなされています。政府は市民に対し、中国公安部によって運用される監視システム“Golden Shield Project 金盾, Great Firewall of China”を通した情報のみを得られるようにすることで、完全な情報統制を行っています。一方で、日本は民主主義国家だと考えられていますが、記者クラブというシステムが存在します。このシステムは情報の流れを阻害してしまうという理由から他国から批判を集めています。昨年、福岡の記者クラブの方と連絡を取り、いろいろな会見に参加させて頂きました。佐賀新聞や西日本経済新聞からもお誘いを受け、会議に参加させて頂きましたが、今まで外国人であってもなんら問題はありませんでした。

また、別の目標もあります。コスタリカ大学で哲学を勉強していた頃、文系には日本に関するコースがなんらありませんでした。ですから、コスタリカの大学にアジア研究のシラバス作成を手助けしたいと思っております。

九州大学を卒業後は、記者だけでなく、大学教授としても働きたいと思えます。

来日以来、金沢、京都、奈良、岡山、広島、長崎等を訪れ、貴重な経験をすることができました。

現在、ボランティアでスペイン語を教えており、加えてスイミングクラブで幼児に対し水泳指導をしており、実際に日本語を話すことでより深く日本語を学んでいます。

